



たくさんのご支援・ご協力、ありがとうございます

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、家計がピンチで困っている！そんな家庭をささやかでも食べ物で応援したいと、2020年4月から始めた「せたがやこどもフードパントリー」。

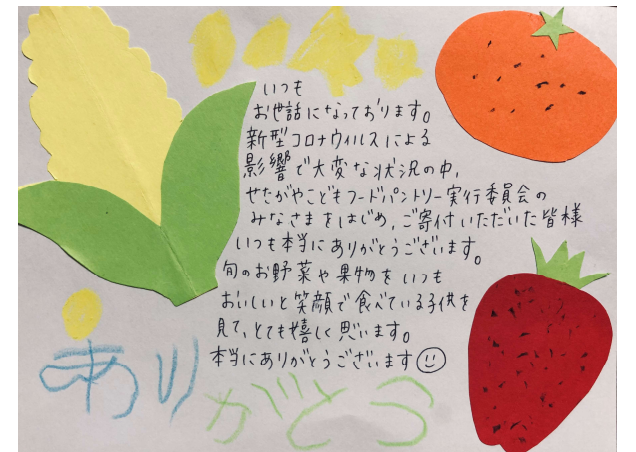
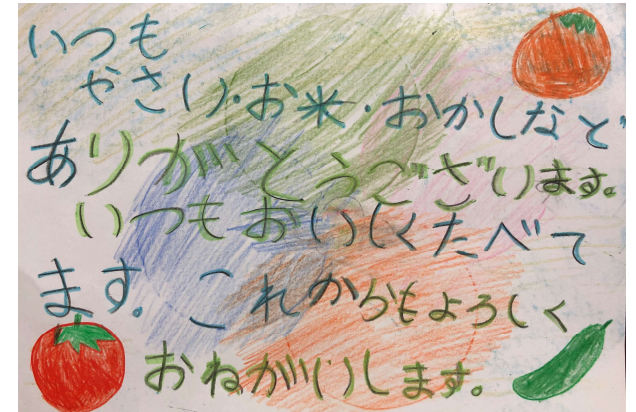
みなさまからのご支援・ご協力のおかげで、2021年1月5日から12月18日までの計41日間の活動を通じて、約230家庭430人の生活困窮世帯の子どもたちに、1万食以上を提供することができました！

これほどまでに多くの子どもたちや保護者に応援の気持ちを届けることができたのは、みなさまから温かいご支援・協力をいただけたからです。心から感謝いたします。

この1年9か月間の活動を通じて、感染拡大以前からしんどい状況で生活していたり、コロナ禍で新たにしんどい状況に陥った子どもや保護者と少しずつ繋がることができたと感じています。このようやく繋がったSOSの手を離すことがないように、今年も活動を続けていきます。

「困ったときは、お互いさま」をモットーに、地域で子どもや保護者を温かく見守り、支えていきたいと思っておりますので、引き続きのご支援・ご協力お願いいたします。

2022年1月
せたがやこどもフードパントリー実行委員会



← 最新の活動はこちら
(裏面もご覧ください。)

せたがやこどもフードパントリー実行委員会
〒156-0051 世田谷区宮坂2-21-1-B1
foodsetagaya@gmail.com

食材の提供: 利用家庭の93%が子どもの食生活が改善したと回答

月2～3回、区内計4か所で、お米や野菜・レトルト食品・お菓子・ジュースなどの食材を提供しました。

その結果、「3食食べれるようになった」「遠慮せずに、おかわりやおなかいっぱいになるまで、食べるようになった」「お米が買えず蕎麦でつなぐ日々だったが、お米を食べさせてあげられるようになった」「お米をいただける分、お肉や魚を買える」「おかずを一品増やせるようになった」「フルーツや野菜を食べられる頻度や種類が増えた」と、子どもたちの食事の回数や栄養バランスの偏りが改善されています。

また、保護者の仕事からの帰りを夜まで待つ子どもたちも多いですが、「いただいたレトルト食品で空腹を解消できた」「簡単ながら(子どもが)自分でご飯を作って食べるようになった」との声もありました。

さらに、企業からのご支援により、牛丼やピザ、ケーキなどを提供することもありましたが、「贅沢だなあと思ってほとんど買いに行かないものをいただく機会があり、目をキラキラさせて嬉しそうに“美味しいね”と食べていた」との声もありました。

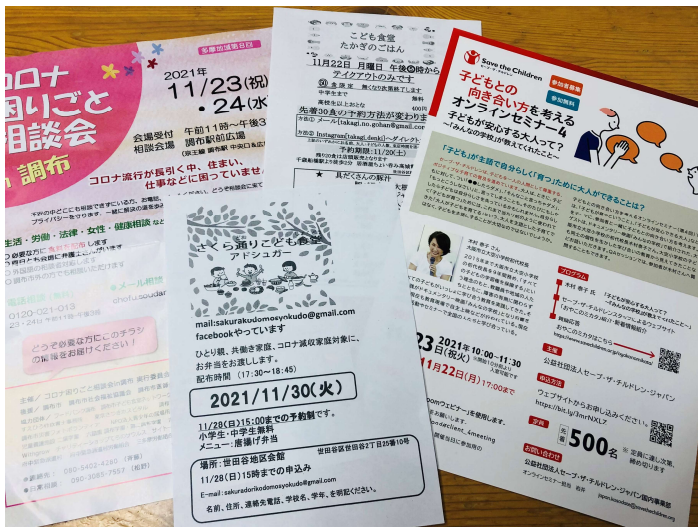
「食べる＝生きる、食べ盛りの子どものに食べさせられる食材があるという安心感がある」「コロナでコミュニケーションが減る中、世間から取り残されたような気持ちだったが、応援してくださる方がいるのはとても支えになる」と食材の提供が、利用家庭の精神的な支えにもなっています。

必要な支援へのつなぎ: 利用家庭の93%が新たな支援を知ることができたと回答

食材の提供と合わせて、ちらしやメールで、官民の支援サービスに関するお役立ち情報をわかりやすく提供しました。発信した情報は、地域の子ども食堂や無料学習支援、給付金、奨学金、就学援助、住宅相談会、生活困窮相談会、子育てセミナーなどです。時には、七五三の無料写真撮影や子ども劇場の無料鑑賞、学用品の提供に関する情報も発信し、経済的な理由により欠如しがちな子どもの所有物・体験を補いました。

また、活動時の安心した空間づくりや保護者へのきめ細かなメール対応により、子どもや保護者との関係性を構築できるように心がけました。保護者からは、「毎回笑顔で迎えていただき、優しい言葉をかけていただけることが一番うれしかった」「いつも言えない愚痴なども聞いていただくこともあり、ありがたい」との声があがっています。

さらに、不登校・受験・離乳食・仕事・病気やけが・住居などについて個別に相談を受けることもあり、利用家庭の66%が相談できる人が増えたと回答しています。



ご協力のお願い ～子どもたちの育ちを「食」を通じて支えてください！～

◆現金の寄付

昭和信用金庫 経堂支店 普通1149242 セタガヤコドモフードパントリー

◆食材の寄付

Amazonほしいものリストから、今後配布予定の食材を購入し、ご寄付いただけます。

<http://u0u0.net/JWVr>

